

目標達成計画

作成日: 平成 25年 12月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	26	月に1回の月例会議で、利用者の担当職員が利用者の様子や変化・本人や家族の希望を報告し、ケアカンファレンスを行い、介護計画に反映させている。しかし、日々の介護記録は、介護計画を反映したものになっていない。	職員は介護計画を意識し、それに基づいた日々のケアを行い、介護計画に記載する。	介護計画に基づいたサービス提供を行い、個々の介護サービスの提供方法等を具体的に記録する。	1ヶ月
2	4	利用者が不穏時に、戸外へ出てしまう対策として、居室窓の施錠や居間の掃き出し窓と玄関前扉の施錠を行っている。それぞれの利用者や家族には、状況説明や許可・同意書を取っていない。	不穏な時間帯や施錠場所を減少できないか事業所全体で継続して検討しつつ、利用者家族に許可や同意書を求める。	施錠については、利用者家族に状況説明し、許可や同意書を頂く。施錠しないことを第一優先とするが、日々の生活の中で、不穏時の興奮が収まらない場合は、安全を第一優先し、危険な状況に陥らないように施錠は行う。	1ヶ月
3		避難訓練は年2回実施している。地区の区長から、近隣住民に避難訓練への促しや、夜間の災害時などの協力を依頼しているが、日中在宅の住宅が少なく、夜間も在宅している隣人が限られており、対策が乏しい。	災害時に近隣住民の協力を得ることができるようにする。	近隣住民や隣組への挨拶や災害時の協力依頼を区長と共に行う。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。